土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　砂防指定地内河川　常清滝川　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bor-6	**調査位置**	広島県三次市作木町下作木			**北緯**	34° 51′ 55.9495″
発注機関	広島県北部建設事務所			**調査期間**	2023年 3月 28日 ～ 2023年 3月 30日	**東経**	132° 43′ 15.6297″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 152.63m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 21°	**使用機種**	**試錐機**	東邦地下工機DL-B58		
総削孔長	8.00m								**エンジン**	ヤンマーNFD-13	**ポンプ**	東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1				礫混じり砂質土		暗褐	rd2			細砂主体。 粘土分少量含有。 表層10cm程度木片多い。	
2	149.73	2.90									
3				風化流紋岩		暗灰				中～粗砂と径20～30mm程度の亜角礫主体。 コア長5～15cm程度の硬質な礫や玉石が点在。	
4	147.73	4.90									
5	147.13	5.50		流紋岩		暗褐灰				基盤の流紋岩。軟岩I。 棒状コアで採取されるが， 風化が進みハンマー打撃で土砂状となる。	
6				流紋岩		暗青灰				基盤の流紋岩。軟岩II。 棒状コアで採取。 亀裂面は風化が進み褐色を呈する。 ハンマー打撃で金属音がする。	03/30 6.81
7	145.83	6.80		流紋岩		濃青灰				基盤の流紋岩。中硬岩。 棒状コアで採取。 コアは比較的新鮮である。 ハンマー打撃で金属音がする。	
8	144.63	8.00									
9											

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15～1.45	1	1	1	3/300		
7	1.45～2.15	2	3	2	7/300		
40	2.15～2.45	11	13	16	40/300		
36	2.45～3.15	11	12	13	36/300		
63	3.45～4.15	16	22	12/40	50/240	240	
214	4.45～5.15	50/70			50/70	70	
	5.39～6.00	50/0			50/0		
	6.07～7.00	50/0			50/0		
	7.00～8.00	50/0			50/0		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1.15～1.45	P6-1	⊖			3/28
1.45～2.15	P6-2	⊖			
2.15～2.45	P6-3	⊖			
2.45～3.15	P6-4	⊖			
3.45～4.15	P6-5	⊖			3/29
4.45～5.15	P6-6	⊖			
5.39～6.00					3/30
6.07～6.00					